

30年「おおきに」これからも



島根県立万葉公園上空より



近畿益田会創立30周年記念誌
平成28年(2016年)10月



近畿益田会

トップページ

- 会長よりご挨拶
- 近畿益田会の活動
- 近畿益田会だより
- ふるさと益田便り
- 益田関連ニュース
- 定時総会・懇親会
- 会則及び会計規範
- 個人情報の取扱い
- 事務局よりお知らせ
- 益田市の紹介
- 益田のイベント紹介
- 益田市の景観情報
- フォトギャラリー
- 益田会 役員専用
- 益田会 会員専用

部活動の紹介

- ハイキング部
- ハイキング部専用
- ゴルフ部
- ゴルフ部会員専用
- 婦人部

お問い合わせ



網看の海と歴史の町へご案内する
いわみ
萩・石見空港

萩・石見空港は島根県の西端益田市にあります。益田市は日本一の清流高津川が日本海へ注ぐ自然豊かな町で、歌聖柿本人麿や画聖雪舟が暮らした文化の町としても有名です。

伊丹空港から60分

近畿益田会はふるさと益田の応援団

近畿益田会のホームページへようこそ

近畿益田会のホームページにアクセスいただきありがとうございます。この会は近畿地方に在住する島根県益田市出身者及びその家族、益田ファンの方々も含めた「益田大好き人間」の集うステージです。

生まれ育ったふるさとを想う人、主人のふるさと、奥様のふるさと、友人のふるさと、「益田」に惹（ひ）かれた人たちの益田市大応援団でもあります。

関西で生活しながら、益田市の発展に少しでも貢献できたらと思って多彩な活動をしています。世代を超えた楽しい集いにして行きたいと思っていますので、ぜひご入会いただき、ハイキング部会やゴルフ部会、旅行や益田市との交流、観光キャンペーンなどご参加下さい。

会員皆さんのご意見やご提案もどしどしお寄せ下さい。ありがとうございました。

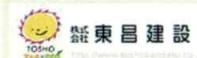
「近畿益田会」で検索しご覧下さい。

企業広告欄



株式会社 テライ

防災システムに関する
設計・施工・保守点検を
トータルサポート
株式会社 カケハシ



自然と人との「共生」をめざして



神戸 船の旅

コンシェルト



バナー広告募集中

近畿益田会が益々ご発展されますよう
お祈り申し上げます

豊かな自然と高津川 好きです益田

清流高津川いかだ流し大会実行委員会

近畿益田会30周年記念誌

発刊にあたって



会長 中島健二

平成28年10月23日(日)ホテルグランヴィア大阪で開催される総会は近畿益田会設立30周年の記念すべき節目の総会です。ふるさと益田を離れ近畿で在住する仲間で構成する「近畿益田会」は、会員数150名程度ではあるが、ふるさと益田市との架け橋として今まで益田市との交流を深めると共に会員相互の絆を大事にして継続・発展してきました。これもひとえに歴代会長を中心に役員・会員のみなさまのご協力と益田市からのご支援の賜物であり改めて衷心より厚く御礼申し上げます。この30年間を振り返りますと初代山田会長の並々ならぬご努力と続く椋会長・松本会長・早内会長それぞれの時代に幾多の難題をクリアして今日があります。昨今、会員の顔ぶれも随分と変わってきたように感じますが、若年新入会員がなかなか増えず、ややロートル化の傾向にあります。従って今後の目標は新規若年会員入会促進にあります。近畿益田会の活動をまずは知っていただき一人でも多くの方に入会して頂き、より活性化した会の運営に役員一同邁進してまいりたいと考えます。今般30周年を記念して発刊します記念誌が新入会員促進に活用されることを願っています。

さて、近畿益田会では、総会で決定した年間行事に従って会員相互の親睦と交流を目的としたゴルフ部会やハイキング部会が活発に活動しています。本記念誌にもその内容を記載させて頂きました。また、益田市との交流事業や特産品の販売促進更には姉妹都市の若狭町・高槻市と連携した各種行事にも積極的に参加しています。会員の故郷である益田市が益々発展していくことを切に願っています。今後ともより連携を深めていきたいと考えます。

終わりに本記念誌発行に際し祝辞を寄せて頂きました山本浩章益田市長を始め多くのご来賓の皆さん方、広告掲載に協賛して頂きました方々に厚く御礼申し上げますと共に益田会の更なる発展と会員皆さまのご健勝ご活躍をご祈念申し上げます。

近畿益田会30周年記念誌に寄せて



益田市長 山本浩章

近畿益田会が発足30周年を迎えられ、ここに記念誌が発行されますことを心からお祝い申し上げます。貴会の30年の長きに渡る継続と発展は歴代の会長をはじめ会員の皆様の熱意とご尽力によるものと深く敬意を表します。

また、近畿益田会の皆様におかれましては、日頃より「ふるさと益田」に対して温かいご支援・ご協力を頂き、厚く御礼を申し上げます。高槻姉妹都市交流センターでの特産品販売をはじめ様々なイベントの際には足を運んで頂き大変嬉しく思っております。

近年、全国的に人口減少がもたらす危機的な状況が注目されています。益田市でも出生率の低下、働き手である若者の流出など、人口減少の傾向が顕著になっております。そこで、益田市では人口拡大への挑戦として平成26年に「益田市人口拡大計画」を策定、施策に着手したところです。さらにそのビジョンと方針を基本とし、これに新たな視点とプロセスを加えた「益田市人口ビジョン」及び「益田市総合戦略」を平成27年10月に策定しました。4つの基本目標である「定住の基盤となるしごとをつくる」、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「益田に回帰・流入・定着するひとの流れをつくる」、そして「地域にあるものを活かし、安心して暮らせるまちをつくる」ことに積極的に取り組んで参ります。この「益田市総合戦略」は平成31年までの長い取り組みであり、決して平坦な道のりではありませんが一歩一歩進めて参りたいと思っております。

末筆ながら、今後とも「ふるさと益田」の発展に一層のご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、近畿益田会のますますのご発展と会員の皆様のご健勝をお祈りいたしまして、30周年にあたりましてのお祝いの挨拶とさせて頂きます。

近畿益田会30周年記念誌に寄せて



益田市議会議長 佐々木恵二

近畿益田会が設立30周年を迎えられ、ここに記念誌を発行されますことを、心からお祝い申し上げます。

近畿益田会の皆さんにおかれましては、平素から「ふるさと益田」に対しまして温かいご支援を賜っておりますことに厚くお礼を申し上げます。またこれまで貴会の発展と郷土を思う心を集め、「ふるさと益田」との交流にご尽力いただきました歴代会長をはじめ、会員各位に深く敬意と感謝を表する次第です。

空の玄関口にある萩・石見空港は現在、東京線2便運航が実現しており、この継続に向け官民挙げて利用促進に取り組んでいます。大阪便につきましても、期間限定の運行を行っているところですが、今後も早期の定期便運航再開を目指し、尽力して参りたいと思っております。市議会では、姉妹都市である高槻市議会を表敬訪問するなど、様々な形で空港利用のお願いを積極的に行っております。近畿益田会の皆さんにも引き続きご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

先に行われた平成27年国勢調査速報値によると益田市の人口は47,701人となっており、前回から4.6%減少しています。この人口減少課題に向け、市では様々な支援制度を設け対策に取り組んでいます。毎年開催する大阪での定住フェアには多くの方々に益田ブースを訪れていただいています。市議会といたしましても、市が掲げます人口拡大に向け、若者が定住し、多くのU.I.ターン者を受け入れができる、活力ある益田市の建設に向け一層の努力をしていきたいと思っています。

皆さんにおかれましては、30周年を契機といたしまして、今後ますます「ふるさと益田」の発展にご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、近畿益田会のますますのご発展と会員の皆さんのご健勝をお祈りいたしまして、お祝のご挨拶といたします。

近畿益田会30周年記念によせて



益田商工会議所会頭 島田憲郷

近畿益田会が、このたび目出度く30周年を迎えたことに対しまして、心よりお慶びを申し上げますとともに、深く敬意を表する次第でございます。

今日に至りますまでの30年間、歴代会長様はじめ会員の皆様の「ふるさと益田」に対する熱い思いと、これまでのご努力とご苦労は大変なものであったものと推察致しております。

ところで、日本の人口が減少に転じてきた中で、東京など大都市部への一極集中が始まり、地方都市は一様に人口減少と少子高齢化の波が押し寄せていますが、益田市もその例外ではありません。

人口が減少すると、経済活動をはじめ様々な面で歪みが生じますが、定住人口の減少分は、観光など交流人口を増やすことでカバーする必要があります。そのためには沢山の人たちを惹きつける魅力ある地にして行かなければなりません。

益田市は島根県で一番広い面積を有し、幾度か清流日本一に輝いた高津川をはじめ素晴らしい自然に恵まれています。また古くから雪舟、人麻呂ゆかりの地として知られていましたが、中世室町時代に益田氏のもと一大勢力と文化の華が咲き、その遺産が国内でも稀なくらい多く遺っていることなどが、近年次々と明らかになってきており、私たちも大いに自信を取り戻しつつあります。

又、永年にわたり官民一体となって運動を進めて参りました山陰自動車道の整備も、やっとその進捗状況が目に見える段階まできました。萩石見空港の利用拡大と相まって益田市に更なる追い風が吹いてくれることを願っております。

そうした中、これからも皆様が誇りに思っていただける「ふるさと創り」に、一丸となって懸命に取り組んでまいりたいと気持ちを新たにしておりますので、益田に対しまして皆様の更なる応援をお願い致します。

最後になりましたが、近畿益田会の今後ますますのご発展をお祈り致しまして、お祝いのご挨拶と致します。

益田市歌 「明日をむかえるまち」

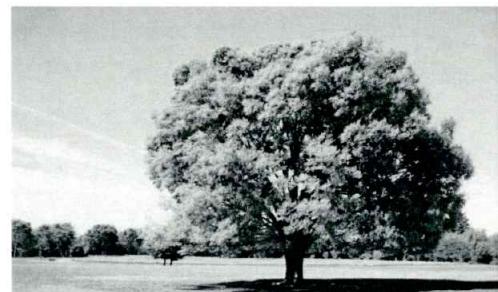
谷上寿昭：作詞
寺嶋陸也：作曲

一 あさ かこう やな
朝もやにけむる 河口の家並み
はまべ う こぶね
浜辺に浮かぶ 小舟をながめ
しお か なみおと き
潮の香ほのかに 波音を聞く
ひかり
おだやかな 光のなかに
きのう まち
昨日とおなじ街がある



市の花「水仙」

二 こも び ゆ やま はし
木洩れ陽が揺れる 山あいの橋
きし かわも うつ
岸のつつじが 川面に映る
あさせ かがや みず て く
浅瀬で輝く 水を手で汲む
くうき
さわやかな空気のなかに
きょう まち
今日がはじまる街がある



市の木「欅(けやき)」

三 こくどう はし とうげ
国道を走り 峠をのぼる
おき いさりびとも
はるかな沖に 漁火点る
ゆうぐ しづ ふもと
夕暮れ静かに 麓をつつむ
なが
ゆるやかな流れのなかに
あす まち
明日をむかえる街がある

あす ますだ
明日をむかえる益田がある



市の魚「アユ」

★ 益田市のホームページに掲載されています
歌を聴くことができます

益田市の見どころ



益田駅前再開発
平成19年(2007年)当時



島根県芸術文化センターグランツワ
屋根、外壁には島根県が誇る石州瓦約28万枚使用



中須東原遺跡

中世の中須湊は舟着場と町が一緒になって出来ていた



飯田吊橋改修竣工

高津川に架かる1955年竣工の166mの吊橋



萩・石見空港

平成5年(1993年)に開港



益田市匹見町

温泉、紅葉、冬のスキー・スノボーと
四季を通じて楽しめる



益田市美都町

桜とゆずと温泉の都

益田市の見どころ



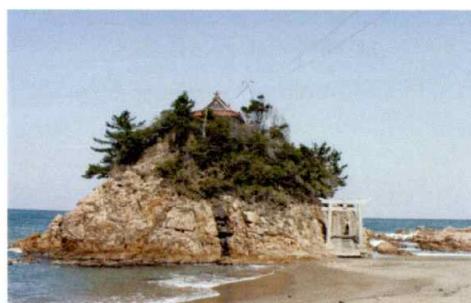
高津柿本神社
歌聖柿本人麿を祀る神社



医光寺總門（七尾城大手門）
県指定有形文化財



ひだまりパークみと グラウンド・ゴルフ場
日本一のグラウンドゴルフ場(14コース 112ホール)



戸田衣毘須神社

神社には瓦屋根に鰐鉾が飾られている
宮ヶ島へは満潮時には渡れない



櫛代賀姫神社
国登録有形文化財



益田川ダム

平常時は貯水しない穴あきダム



益田の水源地
七尾公園



久城ヶ浜
夕日スポット



唐音水仙公園
水仙の里 益田市鎌手地区

益田市の見どころ



蟠竜湖県立自然公園

竜がとぐろを巻いている形に似ているとして名づけられた湖



裏匹見峠

切り立つ断崖や変化に富んだ溪流



益田運動公園花見の丘展望地

近畿益田会が植樹したウコン桜



風の丘公園

石見空港の隣に美しい景色の広がる公園

持石海岸

青い海と空、白い砂とのコントラストが魅力

益田市のイベント



益田市制施行60周年
平成24年11月



益田市、美都町、匹見町、合併10周年
平成26年11月



第55回 益田まつり
近畿益田会がパレードに参加



萩・石見空港 開港20周年 益田水郷祭 船神事
平成25年8月



高津川を舞台に繰り広げられる
益田の夏祭り



清流高津川いかだ流し大会
手作りいかだが多数参加して
川を下ります



萩・石見空港マラソン全国大会
現役空港の滑走路を走る
マラソン大会



石見の夜神楽益田公演
毎週土曜日開催



益田万葉まつり
伝統芸能・舞踊等のイベント



益田I・NA・KAライド
自然を満喫しながらサイクリングを楽しむ

近畿でのイベント



高槻市と災害時相互応援協定調印式
平成25年4月



益田翔陽高校甲子園出場
第85回選抜高校野球大会 平成25年3月23日



民族芸能と農村生活を考える会～益田市
大阪府立男女共同参画・青少年センター 平成22年1月9日



益田市の特産品販売イベント
平成27年5月9日 イオン高槻



うまいもん盛りだくさん市
高槻市姉妹都市交流センター



第52回 近畿島根県人会
石見地域の特色を生かした県人会 平成26年11月9日



匹見こども石見神楽団
平成27年8月1日 高槻まつり



空楽フェスタ 2015
平成27年5月30日 大阪国際空港

ハイキング部会



第150回（平成28年4月）合唱中です
海津大崎観桜（一泊で）

第149回（平成28年3月）
荒山公園の梅見



第140回（平成27年6月）ハイキングの様子
しあわせの村（一泊で）



第138回（平成27年4月）合唱中です
八幡背割堤の桜とビール工場見学

第130回（平成26年8月）
有馬温泉（一泊で）



第110回（平成24年10月）
熊野本宮大社（一泊で）

第100回（平成23年12月）
諭鶴羽山（一泊で）

第90回（平成23年2月）
青谷梅林

ゴルフ部会



第22回（平成27年10月）

つるやカントリークラブ



第21回（平成27年5月）

ダンロップゴルフコース

第20回（平成26年11月）

六甲カントリー倶楽部



第19回（平成26年5月）

大宝塚ゴルフクラブ

第18回（平成25年11月）

クラウンヒルズ京都ゴルフ倶楽部

第17回（平成25年5月）

ムロウ36ゴルフクラブ



第16回（平成24年11月）

能勢カントリー倶楽部

第15回（平成24年5月）

奈良若草カントリー倶楽部

第14回（平成23年11月）

能勢カントリー倶楽部

近畿益田会総会



第29回（平成27年9月）



第28回（平成26年10月）



第27回（平成26年1月）



第26回（平成24年10月）



総会に向けての役員会議



第25回（平成23年10月）

ふるさと益田は

平成16年11月1日に美都町、匹見町と合併して新「益田市」が誕生しました。

1. 人口（平成28年7月31日現在）

○世帯数 21,542 世帯 ○総人口 48,181 人（男性 22,705 人・女性 25,476 人）

《地区別人口》

地区	世帯数	人口	地区	世帯数	人口	地区	世帯数	人口
益田	2720	5928	豊川	378	927	中西	809	1965
吉田	6377	14051	真砂	176	389	二川	112	209
高津	3851	8602	豊田	1158	2704	都茂	498	988
安田	1620	3859	高城	594	1444	東仙道	383	845
北仙道	204	504	二条	270	567	匹見上	448	771
鎌手	738	1699	美濃	160	356	匹見下	166	297
種	117	305	小野	693	1635	道川	70	136

2. 郷土（益田市）の花、木、魚

○市花 「水仙」 ○市木 「ケヤキ」 ○市魚 「アユ」

3. 文化、歴史、観光

○柿本人麿

のどかな田園の続く益田市郊外の戸田。人麿出生の地といわれるこの里には戸田柿本神社があり、代々語部（文字のない時代に、歴史や物語を口伝する職務にあった人）を務めた綾部家が今も神社を守っています。



かつて大和に住み、柿本氏に仕えていた綾部氏は柿本氏の士族が石見に下った時、これに従ってこの戸田に移住、後年柿本氏と綾部氏の娘との間に生まれたのが人麿であると伝えられています。

青年期になると、大和の柿本族の祖地を訪れ、天武、持統、文武の三代の天皇の宮廷歌人となりました。大自然を雄大で感動に満ちた格調の高い贊歌を作り、「万葉集」に収められた人麿の歌は長歌16首、短歌66種にものぼります。

大宝元年(701)以降には、石見国府に赴任し、鴨島（益田川河口の沖にあり地震の大津波で水没）の地で71歳の生涯を送ったと伝えられています。「鴨山の盤根し枕ける吾をかも知らにと妹が待ちつつあらむ」の挽歌を残しています。

○益田氏

平安後期の11世紀頃に藤原国兼が石見国司として浜田市に赴任しました。4代目兼高が広い平野、交通の要所と港に適した益田に本拠を移して益田氏と名乗るよう

になりました。源平合戦では源頼朝の命を受け壇ノ浦の戦いで手柄をたてて着々と力を蓄えてきました。その後石見の約3分の1を納め周の大勢力と巧みに結び地位を強固なものにした。15代兼堯は戦乱で武勲を立てるも文化への深い造詣があり、大内氏の保護下にあった「雪舟」を招き厚遇しました。後に毛利氏とも関係を結び益田氏治政下の約400年間の間に益田地区の基礎を築いた。「益田家文書」を数多く残して中世の益田が読みとれます。



○中須東原遺跡

中須東原遺跡は、益田川の河口左岸で発見された中世（鎌倉時代）の港湾遺跡です。発掘調査によって、礫を敷き詰めた舟着場（荷揚げ場）跡や、砂利敷及び溝状の道路で区画された街区など港町を構成する遺構が良好な状態で発見されました。周辺に残る砂丘等の景観などもあわさって、全国的にも稀な中世港湾集落の様相をよく留め、当時の姿を今に伝える貴重な遺跡として、国の史跡に指定されました。

当時益田地域を支配していた益田氏が関わって、町を拡大させ、舟着場を整備して、飛躍的に湊は発展していきます。商人や水夫などの交易に携わっていた人たちや、鍛冶職人などの手工業生産に携わる人など、様々な人々が経済活動を行っていたものと考えられます。



後に港湾は、河川上流部からの土砂の流入や海面水位の変化による潟湖の陸地化、洪水などによる河川流路の変化など、河口域における地形環境の変化にあわせて、その場所を移しています。

○雪舟

画聖雪舟等楊は、室町中期の頃、備中に生まれ、青年期に京にのぼり、相国寺の禅僧として修行に励み、寛正二年（1461）に大内氏に招かれて山口を訪問、その後遣明船で明に渡り、中国の景色や画法について学びました。雪舟は、中国に滞在中、寧波にある禅宗の古刹・天童寺から「天童山第一座」という最高位の榮誉を贈られています。



帰国後、戦乱を避けて九州、さらに山口に渡り、その後益田七尾城主兼堯の招きにより宗觀寺（現在の医光寺）の五代住職となりました。兼堯の死後、周防の雲谷庵に帰り、その後再び益田を訪れています。そして益田の東光寺（現在の大喜庵）に入って晩年を過ごし、永正三年（1506）87歳の生涯を閉じたと伝えられています。

ます。雪舟は益田滞在中に、萬福寺、医光寺の両寺に心の庭を築き、さらに「益田兼堯像」「花鳥図屏風」などの名作を描いています。

○石州口の戦い（第二次長州戦争）

1866（慶応2）年に第2次幕長戦争（長州では四境口の戦いとも呼ぶ）が勃発し、中国地方4地点（大島口・芸州口・石州口・小倉口）で戦火が上がりました。

石州口の戦いは益田市街地などで大村益次郎率いる長州藩と、浜田藩などの幕府軍が戦い、6月17日には益田川を挟んで激しい銃撃戦（益田口の戦い）となり、幕府軍が敗走し、幕府の敗北が決定的になりました。津和野藩が中立を保って参戦しなかったこと、浜田の一般市民の多くが幕府への不審を抱いていたこと、長州側が新式の兵器を配備していたことなどが要因と言われています。幕末の歴史の転換点になったとされ、今の益田市付近で繰り広げられた長州藩と幕府軍による「石州口の戦い」から今年で150年になります。



（扇原閑門跡 [浜田藩・津和野藩境界]）

○高津川

中国山地を源流として、日本海に注ぐ全長81kmの一級河川。平成18年度以降、何度も「清流日本一」に認定され、ダムのない一級河川としても知られています。また、匹見峡などの流域は豊かな自然に恵まれ、アユやうなぎなどの魚類をはじめ、生息する生き物も多様で地域に自然の恵をもたらせています。とくに「姿よし、味よし」の天然遡上のアユは、全国の釣り人の人気を集めています。

○石見神楽

元来五穀豊穣に感謝して毎年秋祭りに神職によって氏神様に奉納されていた。明治以降には一般庶民に移りリズムも従来の六調子から八調子のテンポとなりました。リズムの軽快さと衣装の豪華では類を見ない独特なものです。演目も30数種あり上演されている。益田市には14社中があり秋祭りの他各種イベント、結婚式、祝賀会等の出張上演を行っています。



益田市のイベント・お祭り

イベント・まつり	内 容	開催時期
大道山（打歌山）初日遙拝登山	日本海に迫り出す堂々たる山影は、大道山連峰です。中国山脈の山々、高津川河口に広がる益田平野、そして日本海と見渡せ、毎年元旦に初日の出登山が開催されます。	1月 1日 午前6時 出発
水仙の里 かまでウォーク	二百万本以上の日本水仙が咲き乱れる唐音水仙公園を歩く催しで、片道は約2キロのコースです。青い日本海には島が浮かんで見え、国天然記念物蛇岩が隣接しています。	1月 第3日曜日
柿本神社節分祭	10時より福男による豆まきがあり、神楽殿では終日石見神楽が上演されます。豆まきでは神楽の鬼たちが参加して、大盛り上がりります。	2月 3日
スーパー神楽 選抜競演大会	グランツワ大ホールで開催される神楽大会。県内外から多くの神楽団が参加し、技を競います。	4月 第1日曜日
益田まつり	伝統の益田音頭パレード、大縄跳び大会、市内団体によるステージのほか、商店会によるにぎわい市や特産販売などが駅前通りを歩行者天国にして開催されます。	4月 第3日曜日
益田万葉まつり	島根県立万葉公園で石見神楽、田植えばやし、民謡、舞踊、フラメンコ、邦楽演奏会、バンド演奏、そうめん流し、抹茶席、煎茶席など多彩な催しがあります。	4月 29日 (昭和の日)
匹見峡春まつり	裏匹見峡、巨大迷路、匹見峡温泉の3会場に分かれて様々なイベントが企画されています。新緑に囲まれた中の匹見町出身の今福優さんの和太鼓演奏や石見神楽は迫力満点。鮎の塩焼きや牛ブロック丸焼き、手打ちそばなど舌でも楽しめます。	5月 3日 ～4日
美都ほたるまつり	美都温泉周辺では石見神楽の上演や、いろいろな夜店が立ち並びます。また、絶好のほたるのスポットへ皆様をご案内するホタルバスを無料運行いたします。	6月 第2土曜日
高津川いかだ流し 大会	スタート地点の向横田の河川敷では前夜祭が開催され、石見神楽、鮎つかみ取り、屋台などがあります。個性的ないかだが多数参加して川下りを行います。	7月 最終日曜日
益田水郷祭	高津川新大橋下流西側河川敷では屋台や売店が出され、花火大会、ホーランエーを見て楽しむことができます。	8月 第1土曜日
八朔祭・流鏑馬神事	人曆の誕生の日、陰暦の8月1日を祝って行われるもので西石見きっての賑やかな祭。高角橋から人曆神社まで参拝客で溢れます。人々は室内安全や、農業の厄をはらう風よけを願います。	9月 1日
萩・石見空港 マラソン全国大会	いつも航空機が離発着している滑走路がレースの舞台。日本で唯一、現役空港の滑走路を走ることができる大会とあって、全国から多くのランナーが集います。 種目はハーフ、10km、2km、エンジョイベン、ウォーキングがあり誰でも気軽に参加できます。	10月 第3日曜日
雪舟さんまつり	雪舟を活かしたまちづくりとして開催しています。 雪舟小僧さん行列や、神楽、キャラクターショー、チビッコ駅伝、おやこソーラン節などの催しが行われます。	10月上旬
ますだ産業祭	市民学習センターと周辺広場で赤ちゃんはいはいレースや紙飛行機大会など多彩な催しがあります。 ・万葉鍋(500食無料) ・地場産品コーナーなど	11月上旬

※益田市のホームページに掲載されているイベント・お祭りの一部を記載しました。益田市のホームページ又は観光交流課（0856-31-0331）に行事確認の上ご参加ください。

益田ブランド認定品



丸新醤油醸造元
マルシンのだしふん だしの花



美都ジャム工房
苺ジャム 柚子マーマレード



田中ぶどう園モヌッカ
葡萄ジャム



くれのの会
ブルーベリージャム



(有)真砂
真砂の豆腐



みと 60
みと 60 山里茶



株みと
ゆずっこ



株エイト
ゆずらーめん



(有)鶏卵堂
鶏卵饅頭



岡田屋本店
本格焼酎わさび 25°



右田本店
宗味 画聖 本釀造酒
宗味 歌聖 純米酒

益田地方方言見立番附

益田市立歴史民俗資料館